

カリキュラム 区分		授業 科目	哲学概論 Introduction to Philosophy			担当 教員	松葉 祥一 (専 任)	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	看護学の基盤となる科目 I	授業形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>この授業が目指すのは、哲学史の知識を得ることではなく、「哲学する」こと、つまりこれまで慣れ親しんできた「ものの見方」を根底的に疑ってみる態度の獲得である。そこで、とりわけ現代の哲学者の議論を追いながら、「哲学する」ことを実践してみたい。</p>						
授業のキーワード		<p>ロゴス、現象学、存在、自由、身体、言語、構造主義、相対主義、政治的なもの</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	<p>I：哲学とは何か II：哲学史概観 1. ギリシア哲学 2. デカルトを中心に 3. ドイツ観念論を中心に 4. 現代哲学概観 III：現象学 1. 方法としての現象学（フッサール） 2. 存在とは何か？（ハイデガー） 3. 私は自由か？（サルトル） 4. 身体は「もの」か？（メルロ＝ポンティ） IV：構造主義 1. 言語とは何か？（ソシュール・ヤコブソン） 2. 婚姻と交換（レヴィ＝ストロース） 3. 文化相対主義 4. バイオ・ポリティクス（フーコー） V：ポスト構造主義 VI：まとめ</p>							
テキスト	<p>使いません。</p>							
参考文献	<p>入江幸男・入不二基義 他著「哲学者たちは授業中」：ナカニシヤ出版 1997 これ以外の参考文献は講義中に提示します。</p>							
成績評価の方法と基準	<p>学期末試験 (70%) 授業中に短いレポートを課します。 (30%)</p>							
教員から学生へのメッセージ								